

2021年度 専門委員会 模倣品対策委員会



2022年3月10日

模倣品対策委員会 委員長
野々山 律男
(電装 (中国) 投資有限公司)

1. 活動内容

参加企業(参加者自身)の模倣品対策活動のレベル向上

2. 考え方

① 模倣品対策活動は、参加企業間で競合関係にはならないはず

- ・模倣品対策活動を積極的に実施する企業が増えれば、全体として模倣業者にダメージを与えられる

② 模倣品対策委員会内での議論だけではなく、各社の模倣品対策担当と知り合いになることが重要

- ・webではなく、できる限り現場で参加して知り合いを作る場を提供したい

③ 模倣品対策委員会には26社参加(3月時点)しており、規模が大きい組織になっている

- ・個社で解決できない課題も、組織(IPG、ジェトロ殿含む)の力を活用して解決したい



できる範囲でお互いに情報交換を行い、自分自身の能力向上を図る

→ 各自の能力が向上すれば模倣品対策の効果も向上し、各社にも利益がある

3. 実施状況

課題	事例	解決手段	対象企業
●対応① 模倣品対策委員会の参加企業の知見で検討/解決できる課題	・税関対応をどうしているか？ ・摘発はどのように行っている？ → 各種アンケートの実施、議論等	・模倣品対策委員会内で議論 ・知り合いになった他社の模倣品担当者に個別に聞く	・経験：なし～少 → 質問をする ・経験：中～多 → 他社に情報共有
●対応② 外部との交流を通じて解決できる課題	・各ECサイトとの交流会 → 個社では各ECと交流しにくい ・税関交流、各地の市場監督局との交流	・模倣品対策委員会として各ECサイト/当局と交流会を企画	・経験：なし～少 → 交流会に参加する (交流会の規模拡大に貢献する) ・経験：中～多 → ECサイトに対して交流(質問)する
●対応③ 個社の努力では解決できない課題	・法律/運用を変えないと対応できない ・上位当局と交流しないと対応できない	渉外委員会の白書を通じて建議し、当局に働きかけをする	・経験：なし～少 → 規模拡大に貢献する (困っている企業が多い方が良い) ・経験：中～多 → 直面している課題を提起する

■ 議論の進め方

対応①: 各社の困り事・疑問点を共有し、模倣品対策委員会内の知見で解決できないか議論する

対応②: 対応①で解決できない場合、外部の関係者(EC平台、税関等の当局)と交流する

対応③: 対応②でも解決できない場合、**模倣品対策委員会の総意として渉外員会の白書で建議**する

議題	議論内容(一部抜粋)	成果
ECプラットフォームとの交流 + オンライン対策関連	・アンケートを通じて各社がどのECプラットフォームで模倣品対策を実施しているか共有 → 各ECプラットフォームとの付き合い方、困り事の解決方法を共有	■ 交流会の実施 抖音(8/27)、阿里巴巴(9/15)、拼多多(3/3)
オフライン対策関連	・O2Oの知見共有(各社がどのECプラットフォームでO2Oを成功させたか共有) ・中国外で摘発した場合、輸送情報から中国の生産工場を調査できるか？ 海関が権利者へ被疑製品の真贋鑑定を依頼する通知を送付する際、同時に真贋鑑定を正確に行うために当該被疑製品を直接撮影した複数枚の写真を送付することを要望する。	■ 白書の「再犯防止」、「知的財産保護プログラムの整備強化」、「模倣品の海外流出への対応」の項目で以下を建議 ・税関で複数回差止処理がされた場合、住所等を含む依頼人情報を権利者が取得できるようにする ・著作権を用いてECプラットフォームに削除等を求める際、当該著作権の著作権登録を必須とせず、申請者が当該著作権の著作権者であることを合理的な方法で証明できればよいことを明確にする ・税関が権利者へ真贋鑑定の通知を送付する際、被疑製品を直接撮影した複数枚の写真を送付する
税関等の当局との交流	・税関での摘発数を増やすためにはどうすればよいか等 → 訪問場所/訪問回数・頻度/交流内容の問題	■ 交流会の実施 上海市場监督管理局(6/29)、北京市場监督管理局(9/8)、広州税関(2/16→再調整)
自由討論	・AACA特戦隊の活用方法 ・模倣品対策の方針を社内でもどのように説明しているか 等	■ 議論テーマ数：5テーマ → 毎月の会合の中で30分程度時間を確保。中国語で議論し、議論の効率をアップ
アンケートを通じた情報共有	自社内で活動内容を検討する際に参考にする 例：模倣品対策をどこまで進めるか？ 他社の実績も比較しながら模倣品対策をどこまで実施するか検討可能 → 社内でもよく聞かれる、“他社はどうなのか？”に回答可能	■ アンケート(情報共有に同意する企業のみ参加) ・ECプラットフォームでの模倣品対策活動状況(24社) ・税関での摘発状況(16社) ・税関以外の摘発状況(15社) ・摘発に苦労した事例共有(13社) ・摘発時の対応について(15社)

- EC 平台 / 税関 / 市場監督管理局との交流形式
- ・ 交流先から模倣品対策活動等の説明
- ・ 事前送付した質問事項に基づき意見交換を実施

(中文版)

問題④

1) 我们考虑如何能够让线上认定为权利人的损失额，请注意些什么？

2) 为了增加损失额，权利人准备呢？例如除了网络平台

問題④

1) 摘発時の損害額の認定にあ上情報等)も活用したいと考えよいか？

2) また、損害額の認定を増や備すればよいか？ 例えば、EC報があるのか？

問題③

市局在做行政案件当中是否采信一部金额能被执法机关认定为权的处罚金额？

作为权利人，请问对于我们叫

問題③

当局の行政摘発案件の中に、ネット認めますか。

例えば、ネット店舗の商売データの一部になれるか。

当局からこの権利侵害のネット店舗かつ、権利人として、ネットデータで認めれますか。

問題⑤

目前阿里巴巴要求真假对比需同一同款式/型号的真假对比点都是共LOGO的不一致等)，在对比材料的产品”的情形下，是否可以不再的产品线，型号繁多，每个投诉都

質問⑤

アリババへの真贋対比の投訴は同一る。しかし多くの製品は品番が異なる真贋鑑定ポイントが存在している)。真贋鑑定対比資料の中に明確にる」と記載した場合、同一品番の真贋の間違いなどで品番が多く、それは要求が高い。

(中文版)

以前和某海关交流的时候海关说明，通过行邮渠道查获侵权时海关往往会依职权销毁产品，如果运输公司提出异议有时会委托权利人进行真伪鉴定。

問題8：广州海关对行邮渠道有相同的运用吗？

問題9：如果向广州海关询问权利人(弊社:DENSO)的一年通过行邮渠道查获的数量有多少，能不能给权利人答复？

問題10：在行邮渠道，以运输业者的反驳等理由委托权利人判定侵权的比例是多少？如果可能的话，请告诉我大概的比例，例如10%等。

(海关委托权利人判定侵害鉴定时，想知道是不是基本上通过货运渠道查获的案件。我想根据海关公开的货运渠道查获的数量来评估敝司的查获数量)

以前ある税関と交流をした際、小口郵便ルートでの押収は税関側が職権で対象製品を廃棄するケースが多く、輸送業者から反論があった場合に権利者へ真贋鑑定を依頼するケースがあると教えて頂いた。

質問8：広州税関でも小口郵便については同じ運用がされているのか？

質問9：弊社(DENSO)の小口郵便ルートでの摘発数が年間どの程度あるのか広州税関へ問合せをした場合、回答頂くことは可能か？

質問10：小口郵便ルートで輸送業者から反論がある等の理由で権利者へ侵害判定を依頼する割合はどの程度か？可能であれば大体の割合(例えば10%等)を教えてください。

(税関から権利者へ真贋鑑定の問合せがある場合、ほぼ貨物輸送ルートで抽出された案件であるのかを知りたい。税関が公開している貨物輸送ルートの摘発数から自社の摘発数を評価したい)

7/7

6/7

4/7

4. 今後の進め方(21年度の活動方針を継続する予定)

課題	事例	解決手段	対象企業
● 対応① 模倣品対策委員会の参加企業の知見で検討/解決できる課題	・税関対応をどうしているか？ ・摘発はどのように行っている？ → 各種アンケートの実施、議論等	・模倣品対策委員会内で議論 ・知り合いになった他社の模倣品担当者に個別に聞く	・経験：なし～少 → 質問をする ・経験：中～多 → 他社に情報共有
● 対応② 外部との交流を通じて解決できる課題	・各ECサイトとの交流会 → 個社では各ECと交流しにくい ・税関交流、各地の市場監督局との交流	・模倣品対策委員会として各ECサイト/当局と交流会を企画	・経験：なし～少 → 交流会に参加する (交流会の規模拡大に貢献する) ・経験：中～多 → ECサイトに対して交流(質問)する
● 対応③ 個社の努力では解決できない課題	・法律/運用を変えないと対応できない ・上位当局と交流しないと対応できない	・渉外委員会の白書を通じて建議し、当局に働きかけをする	・経験：なし～少 → 規模拡大に貢献する (困っている企業が多い方が良い) ・経験：中～多 → 直面している課題を提起する

■ 22年度の進め方

対応①: 各社の困り事・疑問点を共有し、模倣品対策委員会内の知見で解決できないか議論する

対応②: 対応①で解決できない場合、外部の関係者(EC平台、税関等の当局)と交流する

対応③: 対応②でも解決できない場合、**模倣品対策委員会の総意として渉外員会の白書で建議**する